

事務事業名	コード	40700 青年の家管理費	予算科目	会計 一般	款 10	項 4	目 5	所管課	生涯学習課	担当班	社会教育施設班	
基本施策	12	生涯学習の充実	根拠法令	旭市青年の家の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
施策の展開	24	生涯学習関連施設の充実	戦略事業	125 各施設の整備充実								
施策の展開	28	青少年の健全育成の推進	戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 47 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	条例上は青少年健全育成のための施設だが、実情は生涯学習の中核的な施設として、教育文化の向上及び団体生活を通じての健全な育成を図ることを中心に施設を使用している。開館時間は午前9時～午後9時までで、休館日は毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は、その翌日)と祝休日、並びに年末年始となっている。登録団体としてはダンス・柔道・大正琴等の20団体が活動を行っている。また、築40年を経過した施設であるため、施設の運営に関して、修繕等の維持管理が負担増となっている。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
常に新しい知識や技術の習得に取り組み、自らの生活を充実させるような学習機会を、青少年等に提供することを目的に開始した。	築40年を経過した施設であり、耐用年数を過ぎて使用している。その為、青年の家を廃止する話も出ている。そのような状況の中で、現在の利用者が安心して施設を使えるよう必要な維持・修繕を行っていく必要がある。	登録団体から、今後の青年の家について廃止の方向とのことだが、サークル活動を引き続き行いたいので活動場所の確保等の考慮をしてほしいとの意見が出ている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円								
1. 臨時雇賃金	1,902	臨時雇賃金、労災等保険料	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
2. 需用費	2,676	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	2,249	2,196	2,415	1,902	2,123	
3. 役務費	379	通信運搬費、手数料、保険料	2,000	3,587	3,605	2,676	2,967	
4. 委託費	2,288	受付業務委託、警備委託、清掃委託等	351	334	361	379	405	
5. その他	102	NHK、事務機器賃借料	2,654	2,239	2,277	2,288	2,559	
			499	476	93	102	89	
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円								
1. 国庫支出金	0		事業費計(A)	7,753	8,832	8,751	7,347	8,143
2. 都道府県支出金	0		1. 国庫支出金					
3. 地方債	0		2. 都道府県支出金					
4. その他	1,020	青年の家使用料、光熱水費等利用者負担分	3. 地方債					
			4. その他	519	390	562	1,020	595
			5. 一般財源	7,234	8,442	8,189	6,327	7,548

前年度増減理由	・臨時職員が1名減少のため ・修繕の規模が減少したため
---------	--------------------------------

従事職員数	常時 1人	最大 人	× 目 = 延べ 0人
-------	-------	------	-------------

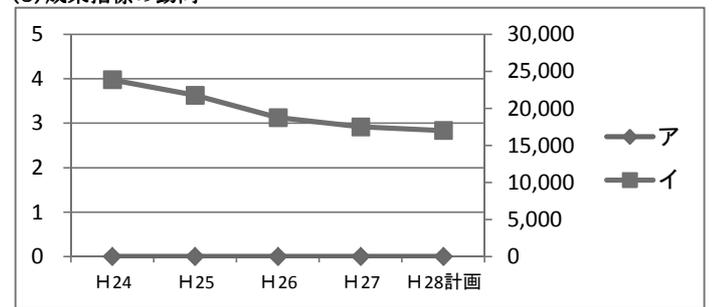
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)		ア 修繕件数	件	2	9	5	5	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 貸館件数	件	1,501	1,523	1,463	1,478	1,470
	対象意図 ・市民 ・登録団体 ・安全に利用できる状態にする		④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図		ア 施設に関する苦情件数	件	0	0	0	0	0
			イ 延べ利用者数	人	23,863	21,768	18,756	17,504	17,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	ある程度ある		①	②	③
	小さい	ほとんどない		④⑤	(4)	⑥
			⑦⑧			
			⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)	・登録団体の利用者は年々減少している。これは会員の高齢化による会員減少や団体の解散が主な原因と思われる。施設の廃止の話がでている中で、新規団体の募集は困難であるが、現在の登録団体に関しては、例年通りに活動を行っている。				
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	比較	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度
【コメント】 (低下の場合、その理由)	・登録団体会員の高齢化により会員数が減少してしまい、解散してしまった団体があるため。 ・青年の家の廃止の話がでている中で、新規の登録団体の募集が困難であるため。				
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	平成29年3月末日まで	耐用年数を超過してしまっている施設があり、廃止の話が出ているため、段階的に廃止への準備を進める。利用団体が使用可能な代替施設の調査及び代替施設の管理者との協議を行っていく。	平成30年3月31日	施設の展望が現時点で不透明だが、施設の老朽化もあり、段階的な施設利用の制限を行っていく必要がある。	